

おかやまみなみ

岡山南遺跡(範囲確認)

所在地 西尾市吉良町木田
(北緯34度50分15秒 東経137度04分38秒)

調査理由 道路改良工事西尾幡豆線

調査期間 平成27年5月～6月

調査面積 100㎡

担当者 池本正明



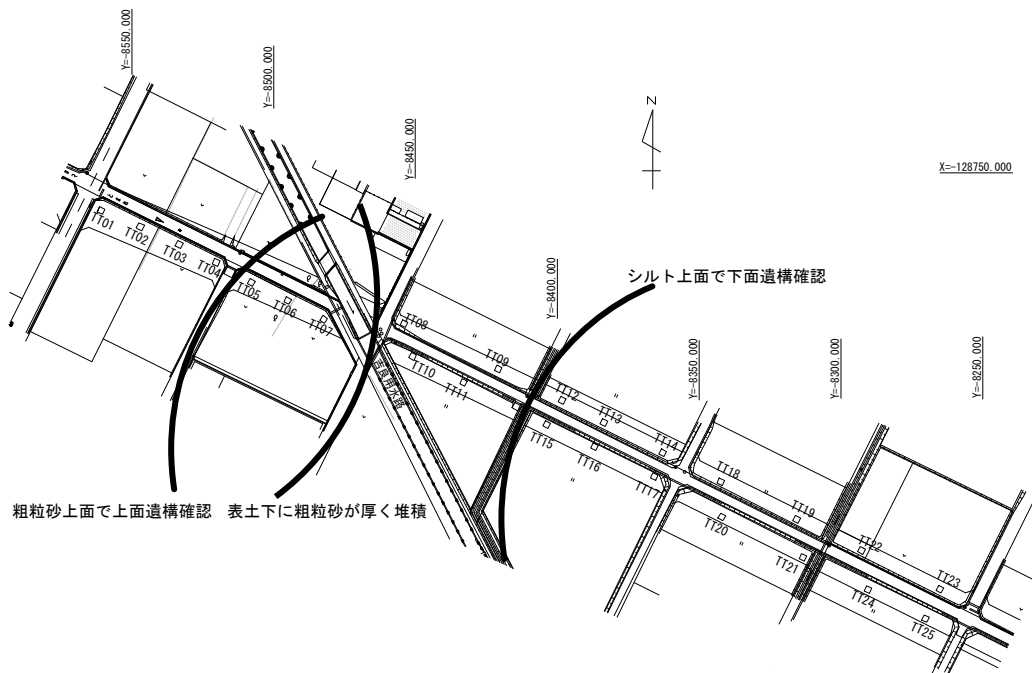
調査地点(1/2.5万「西尾」)

調査の経過 範囲確認調査は、一般県道西尾幡豆線建設予定用地内における岡山南遺跡の西端の確認
立地と環境 を目的としたもので、愛知県建設部道路建設課より愛知県教育委員会を通じた委託事業と
調査の概要 して実施した。調査期間は平成27年5・6月で、調査面積は100㎡である。

岡山南遺跡は矢作(古)川左岸の微高地上に位置する。遺跡の北側には「岡山」と通称される三河山地から伸びる丘陵が位置し、中根山遺跡・吉良八幡山古墳・若宮古墳群など、比較的著名な遺跡が分布している。岡山南遺跡の調査は平成23年度(910㎡)と平成24年度(1075㎡)に実施され、古墳時代・古代・近世の遺構が確認されている。

今回の範囲確認調査は岡山南遺跡の西端を確認するため、本年度調査区の西側にTT01～TT25の25か所の試掘坑を設定した。遺構はTT05以東で比較的濃厚となる。なお、TT05～TT15間では粗粒砂の堆積が確認されており、旧河道の可能性が高い。なお、ここでは粗砂層上面でも遺構を確認している。出土遺物は、ほぼ全ての地点で古代・中世の遺物が得られたが、西側では希薄となる。また、TT15以東ではこれに古墳時代の遺物が加わり、量的にも多量となる。

(池本正明)



試掘坑位置図